

認定特定非営利活動法人
いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい

ニュースレター

第31号

発行日 2021年10月27日
電話 & FAX 029-309-7690
電子メール network-iams.odn.ne.jp
ホームページ <http://network-i.jp/>

事業報告

2021年度4月～9月までの事業について報告いたします。

4月 8日 第1回 理事会・運営委員会
5月 10日 第2回 理事会・運営委員会
5月 22日 講演会「子どもたちの生と性を育む性教育」(水戸市)
第14回 定期総会
6月 21日 第3回 理事会・運営委員会及び第12回定期総会
7月 16日 第4回 理事会・運営委員会

- 毎週(月・水・木)10:00～15:00 電話相談実施
- 毎月(第2・3・4木曜日) オレンジサロン実施
*8～9月は新型コロナウイルスによる緊急事態宣言により休止
- 水戸市及び茨城県要保護児童対策地域協議会は書面開催

今年度後半も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な制約をうけながら活動しています。

12月5日(日)に実施する講演会「子どもが感じる生きづらさ」についても、十分感染予防の対策をとりながら行ないますので、是非ご来場をお待ちしております。



4年目の食糧支援

ネットワークあいでは、フードバンクの協力を頂いて、児童養護施設や里親宅から巣立った子ども達に食糧支援を始めて、4年目を迎えました。

この食糧支援には新たに社会に巣立った子ども達への経済的支援の意味もありますが、大切なことは保護されていた環境から自分の判断で生活していかなければならない環境に入って孤立しないように支えることです。これらの子ども達の支え手は、児童養護施設で世話をしてくれた職員の方であり、里親さんです。いくら専門職だといっても、始めて会う人よりは、今まで生活を共にして自分のことを分かってくれている、と思える大人の方が困った時に相談しやすいのではないのでしょうか。

また大変な問題が起きてから相談するのには、とてもエネルギーがいります。「なれもっと早く言わなかったの」などと叱責されるのではないかと等々、思い悩んでいるうちに時期を逸してしまったり、なおひどい状況に陥ってしまい、自殺や犯罪に走ってしまう事例があります。

普段から「元気?」「何か困ったことはないかな?」と声かけをしてもらって、何気なく話したことから、解決策が分って大変なことにならずにすむ、ということもあるのではないのでしょうか。1人の里親さんから、1人暮らしがうまくいっているか心配で見に行ったところ、「何の用?」と警戒された。という話を聞きました。そこでお米やレトルト食品を渡したところ、とても喜んで、いろいろな話をしてくれた。とか、引越し先を教えてくれた等、つながりが深くなったという話を伺うことができました。

しかし、昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大の影響で貧困家庭が急増し、フードバンクの食糧も母子家庭を中心に配布先が急増しているそうです。このためネットワークあいを受けとれる食糧の量が目に見えて少なくなっています。そこで皆様方をお願いします。米・保存のきくレトルト食品缶詰等、提供していただける物がありましたら、是非フードバンクまたは、社会福祉協議会等に設置されている「きずなBOX」または、ネットワークあい事務所に送っていただければ幸いです。



フードバンク茨城 牛久本部 029-874-3001
// 水戸支部 029-297-1477

ひきこもり・不登校の居場所・相談活動

ひきこもり・不登校／つながり・考える鹿行の会
世話人代表 小林 幸弘(ネットワークあい会員)

引きこもりの方は、全国で115万人、100世帯に1人とされており、県内では世帯数が約118万とすると、1万1,800人いると推定されます。

不登校は、全国で18万人、県内では小学校1,204人、中学高2,703人、高校486人、隠れ不登校はその数倍いるといわれています。私が相談にのっている方の中には大学生もおります。

このような状況の中で、私は何をしても、ひきこもり・不登校の当事者や家族が相談や支援につながってほしいと思い、鹿行の会の活動を続けています。居場所や必要と思われる方が身近にいらっしやったら、ご紹介下さい。

【1】 活動内容

- (1) 毎月の例会。場所は銚田市中央公民館。(第3日曜日:午後1:30~4:00)
- (2) 隔月(奇数月)で女子会も開催。月例会の時に女子会コーナーを設置。
- (3) 個別相談。面接を基本にしつつも、電話やメールでの相談も行います。継続的な個別相談では月1回か2回のペースで継続的に行います。
- (4) 学習会・講演会。例会時に、ミニ学習会も行います。また講師をお呼びしての講演会も年1、2回行います。



【2】 3人のスタッフ体制

スタッフ①:元ひきこもり経験者。ひきこもりピアサポーター(KHJ全国ひきこもり家族連合会認定)

スタッフ②:精神保健福祉士。社会福祉士。保育士。

スタッフ③:教育カウンセラー。アドラー心理学ELMリーダー(ヒューマンギルド認定)

【3】 私たちの基本姿勢

家族同士の、または家族と支援者の対話によって解決・改善・回復の道を探ります。

理解①——対応①

理解②——対応②

理解③——対応③

【理解と対応】の積み重ねを通して、親子の関係性が変わり、子どもが変わっていきます。多くの実践事例から回復過程の教訓が生まれています。一緒に人間理解研究とよりよい生き方・個人が生きる道を探っていきましょう。

【4】 連絡先(世話人代表・小林幸弘)

電話&ショートメール 080-3277-2002

FAX 0291-39-7008

メール yukki.hati@gmail.com